

(6)各委員会の意見発表

① 第 1 委員会

かんきょう

「きれいで環境にやさしいまちづくり」



それでは、第 1 委員会の意見を発表します。

第 1 委員会のテーマは、「きれいで環境にやさしいまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、私たちは 7 月 20 日にごみ焼却施設の
五条川工場に行ってきました。

そこでわたしたちのごみの多さにおどろきました。たくさんのごみが
焼却される様子を見学し、燃やした後に残る灰をさらにとかしてスラ
グにし、再利用しているところは、環境にやさしいと感じました。私
たちは、五条川工場を見学して、ごみを出さないように心がけたいと思
いました。

その後、わたしたちは、施設見学をして感じたことや考えたことをも
とに、名古屋をきれいで環境にやさしいまちにするためには何をすれば
よいのかを考えました。

それでは、わたしたちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員 わたしは、きれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちづくりのために、三つのことを考えました。

一つ目は、花や観葉植物などの植物を道に花だんをつくって植えることです。

二つ目は、たばこのポイ捨^すてをなくすことです。ポイ捨^すては、すれ^すばするほど地面にごみ^{きょうみ}がたま^{しめ}っていくし、小さい子が興味^{きょうみ}を示して、とても危^{あぶ}ないです。だから、どん^すどんたばこを吸^すう場所をつくってほしいです。

三つ目は、人通りが少ない道や街灯^へがついてない道をできるだけ減らすことです。最近^{はんざい}は犯罪^{はんざい}がふえているので、できるだけ安心^へできるような場所をつくって、犯罪^{はんざい}を減^へらすことが大切だと思いました。

○子ども議員 わたしは、街路樹^{がいろじゅ}をもっとたくさん植えるといいと思います。理由は二つあり、一つ目は、植物^{にさんかたんそ}は二酸化炭素^すを吸^すって、酸素^{さんそ}を出してくれるからです。二つ目は、花は明るいので、まちも明るくなるし、自分の気持ちも明るくなるので、わたしは街路樹^{がいろじゅ}をもっとたくさん植えるといいと思いました。

わたしは、ポイ捨^すてをやめるといいと思います。ごみが落ちてい^{ふかい}ると不快だし、まちもきたなくなります。ポイ捨^すてをやめるために、一人一人がごみぶくろを持つといいと思いました。ぶくろを持つと、ごみを自分のぶくろに入れるので、道路にごみ^へが減^へると思ったからです。ごみを減^へらすことも大切だと思^{ごじょうがわ}うので、五条川工場のようにごみを再^{さいりよう}利用するのもいいと思います。一人一人がごみを減^へらすことを心がけるといいと思います。

○子ども議員 先日行ったごみ焼却施設しょうきゃくしせつで見たごみを資源しげんとして再利用さいりようするのはいいなと思いました。

また、最近よく見かけるポイ捨てすをなくすためのアイデアが一つあります。ぼくは、あるところでペットボトルをごみ箱すに捨てると10円がもらえるというシステムを見ました。最初にそれを見たとき、ぼくは「何てすごいんだ」と思いました。また、小さい子どもにもごみを捨てすてもらうために、10円ではなくてガムやあめにすると、小さい子どもも進んでごみを捨てると思います。

こういったアイデアをどんどん採用さいようして、ごみなどがいないきれいな名古屋になればいいなと思いました。

○子ども議員 名古屋をきれいで環境かんきょうにやさしいまちにするためには、自然をふやすことと、地域ちいきの活動として清そうすることが必要だと思いました。

まず、自然がふえると、まちがきれいで明るく見えます。だから、地域ちいきの方全員で花や木を植えるといいと思います。また、花や木を植えるのをマスコットといっしょにするなどの活動をする、子どもも楽しくなると思います。

そして、花や木を植える活動プラスで清そう活動をする、いいと思います。毎月決まった日に清そうする活動があれば、名古屋はとてもきれいなまちになると思います。また、歩道や公園にたくさんのごみ箱せっちを設置すると、清そうしなくてもいつもきれいなまちになると思います。

このような活動をしていくと、名古屋はきれいで環境かんきょうにやさしいまちに変わっていくと思います。

○子ども議員 わたしは、路上駐^{ろじょうちゅうしゃ}車と事故^{じこ}について考えました。

わたしの家は転勤^{てんきん}をたくさんしましたが、4車線のところは初めてです。私は、右はしから左はしまで移動^{いどう}するのは大変だし、危険^{きけん}だと思いました。そこで、4車線から3車線にして、残りの1車線に花や木を植えるといいと思います。そのとき、植えるのを小中学生に手伝ってもらい、植物への関心も高めたいです。

そして、4車線あるのだから1車線ぐらい使っていいだろうと思っている人たちの路上駐^{ろじょうちゅうしゃ}車を防止^{ぼうし}し、事故^{じこ}も防止^{ぼうし}していきたいです。

○子ども議員 ぼくは、ポイ捨^すてをやめさせたいと思います。なぜなら、地域^{ちいき}清そうをしているときに、たばこやペットボトルなどといったゴミが落ちているのをよく見かけるからです。ゴミを捨^すてていても分別をしていなかったら意味がありません。分別をすれば、勉強にもなります。こうしたことをみんなに伝えることで、きれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちづくりができると思います。



○子ども議員 わたしが、きれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちづくりにするために必要なことや自分たちがやれば減^へることが二つありました。

一つ目は、ごみを減^へらすことです。なぜなら、ごみが少ないほど、ごみ処理場^{しよりじょう}のUFOキャッチャーみたいなクレーンの動く回数も減^へるし、ごみ処理場^{しよりじょう}の電気代が少しでも減^へると環境^{かんきょう}にいいからです。

二つ目は、ごみをきちんと指定のごみ箱に捨^すてることです。たまに見かけるのは、たばこのポイ捨^すて、ジュースなどの空っぽになったもののポイ捨^すてです。ごみが地面に落ちていると、自分たちも気分が悪いし、分別しなければ、ごみ処理場^{しよりじょう}の方々が困^{こま}って、工場内にある焼却炉^{ぎゃくろ}の温度のちがいで燃^もやすお金がかかるから、分別した方がいいと思います。これで環境^{かんきょう}がきれいになると思います。

○子ども議員 わたしは、きれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちにするために、市全体が協力^{だんけつ}、団結して、ごみを減^へらすこととそうじすることに取り組むとよいと思います。特に、学区のごみ拾いを行うもよおしを行うことを提案^{ていあん}します。なぜなら、もよおしを通して、どのようにごみを減^へらすかを考えたり、公共の場をきれいに利用しようと思ったりするきっかけになると思うからです。

また、一人一人がごみを減^へらすために、つめかえ用の製品^{せいひん}を買うことや飲食店にマイはしを持参すること、スーパーマーケットなどでレジぶくろ^{ことわ}を断^{ことわ}ることなど心がけるとよいと思います。市全体で協力^{だんけつ}、団結してこそ笑顔があふれるまちだと思うので、みんなに協力してもらいたいです。

○子ども議員 わたしは、しゃべるごみ箱の設置^{せっち ていあん}を提案します。建てる費用は高いと思うけど、みんなが喜んでごみを捨て^すててくれると思います。

ですが、それでもごみを^{かくじつ}確実に捨て^すててくれるとは言えません。でも、小さな子どもでも楽しめることをしゃべるようにすればいいと思います。

それ以外にも、緑のカーテンを名古屋市内でやってみるといいと思います。道路の両はしにゴーヤやアサガオなどといった植物を植えて育てると、緑のアーチができて、そこを通る人もすずしくなるし、空気もよくなると思います。

○子ども議員 ぼくは、きれいで^{かんきょう}環境にやさしいまちづくりで真っ先に思ったのは、^{にさんかたんそ}二酸化炭素を減らすことです。なぜかという^{ちきゅう}と、地球^{おんだんか}温暖化が進むと、これどころじゃないと思います。じゃあ、どうやって^へ減らせばよいかという^へと、木を植えることです。

ぼくは、理科の^{じゆぎょう}授業で^{にさんかたんそ}二酸化炭素を吸って^す酸素^{さんそ}を出すということを教えてもらいました。これを使えば、^{にさんかたんそ}二酸化炭素を減^へらせます。例えば、^{にさんかたんそ}二酸化炭素がたくさん出る工場や車がよく通る大通りなどにたくさん^{にさんかたんそ}の木を植えたりすればいいし、それが無理ならば花なども植えたりすればいいと思います。

○子ども議員 わたしの家の近くには、小道があって、年に2回、近所の人たちとそうじをします。そうじをすると、ごみぶくろがいっぱいになるぐらいごみがあります。わたしは、少しでもごみを減らしたいです。

わたしは、環境に優しいまちづくりをするために、家の近くのそうじをしたり、年に1回、環境について考える日をつくって、一人一人が環境にやさしいまちづくりについて考えて、その日、一個でもいいから挑戦する日をつくったらいと思います。

例えば、買い物でもエコバッグを使うだとか、絵をかくのも、結局ごみになるなら要らない紙に絵をかくなど、そんなことで少しでも環境に優しいまちになるとと思います。

○子ども議員 わたしは、名古屋がきれいで人々から好かれるまちにするため、毎月決まった日に自分たちの住む学区の清そうをすると思います。

小学校のボランティア活動でやっているところも多くあるようですが、それだけでは足りないと思います。ディズニーランドに行くと、たくさんの清そう員さんがそうじをしていて、落ちているごみも少なく、たくさんのごみ箱があるで、みんなごみ箱にごみを捨てています。このような活動を地域の人々で協力して行くと、ごみを減らし、緑をふやすという活動ができ、地域の人々と触れ合うことで、メインテーマにある「笑顔あふれる」にふさわしいまちになるとと思います。

○子ども議員 わたしは、ごみを捨^すてないようにする劇^{げき}やイベントを行うといいと思います。市民が協力することで、ごみを捨^すてなくなったり、各地の子どもから大人までが参加することで、きずなが深まります。劇^{げき}は、たくさんの人に見てもらうために、公園や学校、駅などで行います。

ほかにも、わたしは学校の前にあるような車道に花を植えて、スピードを落とさせる車道を

ふやすといいと思います。車から出た二酸化炭素^{にさんかたんそ}を酸素^{さんそ}にかえてくれるからです。また、車がゆっくりと走るので、事故^{じこ}も減^へると思います。

わたしは、このようなことを行うことで、日本で一番きれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちは名古屋だと言ってもらえると考えました。

わたしたち第1委員会は、これらのことが名古屋をきれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちにするために必要だと考えました。

これで、第1委員会の発表を終わります。

■^{ゆ か わ そ う む かんきょう}湯川総務環境委員長の答弁

第1委員会では、「きれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちづくり」をテーマに、みなさん一生けん命話し合い、さまざまな提^{てい}案^{あん}をしていただきました。ありがとうございます。

委員会視察^{しさつ}では、本当にU F O キャッチャーのような大きなクレーンが次々にごみを持ち運び、そのごみの多さにみなさんおどろいたことをきのうのように覚えています。そしてそのおどろきは、



名古屋をもっときれいで環境^{かんきょう}にやさしいまちにというアイデアに形を変えました。

みなさんの提案^{ていあん}を整理してみますと、大きく三つに分類^{かんきょう}することができました。一つ目は、人やまちを明るくするため、また環境^{かんきょう}のことを考えて、花や街路樹^{がいろじゅ}、緑のカーテンをつくって植えることを提案^{ていあん}してくれました。

二つ目の提案^{ていあん}としては、きれいなまちづくりのために、ポイ捨て^{す ほうし}防止^{ぼうし}の提案^{ていあん}をさまざまとしてくれました。一人一人がごみぶくろを持つとか、また、しゃべるごみ箱^{せっち}の設置^{せっち}、そしてまた、ごみを捨てない意識^{いしき}を上げるために分別の勉強会^すを行ったりとか、ポイ捨て^すをしないことをうながす劇^{げき}や、またマスコットキャラクターといっしょに環境^{かんきょう}のことを考える環境イベント^{かんきょう}の提案^{ていあん}は、なるほどと感心させられました。

最後、三つ目の提案^{ていあん}として、環境^{かんきょう}にやさしいまちづくりのために、ごみの量を減らす工夫^{ていあん}を具体的に提案^{ていあん}してくれました。一人一人がごみを減らすように心がけることとして、つめかえ用の製品^{せいひん}を買うことや飲食店にマイはしを持参すること、レジぶくろを断^{ことわ}るなどを提案^{ていあん}してくれました。

そして、最後に、地域^{ちいき}のそうじ活動やごみを減らすことの取り組みは、市全体、学区で協力^{だんけつ}、団結^{だんけつ}してこそ「笑顔があふれる」にふさわしいまちづくりになるという思いもいただきました。

今回のみなさまのさまざまな提案^{ていあん}には、本当に感心させられました。この提案^{ていあん}をもとに、ぜひみなさんといっしょに日本で一番きれいなまちは名古屋だと言ってもらえるようなまちづくりをしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上でわたしの答弁^{とうべん}を終わります。ありがとうございました。